

第 221 号 内容紹介

1 , 山崎圭一「第2期トランプ政権と発展途上国(中)」

膨大な軍事費を使うアメリカは、世界への介入と経済封鎖、情報戦を組み合わせた途上国潰しをしかける戦争国家だ。グローバルサウス諸国の成長の遅れは、このアメリカの政策を抜きに考えられない。

2、M・V「ウクライナ戦争とグローバルサウスの非同盟政策」

ウクライナ危機にたいして西側と一線を画すグローバルサウスの対応には、深く埋め込こまれた非同盟政策がある。インド、ブラジル、南アの例を分析した英学者の研究論文。

3 , 鈴木頌「イラン戦争をどうみるか/基本的性格」

イランとアメリカの交渉ばかりに焦点が当たるマスコミ報道。この戦争の基本的な政策を踏まえることが大事だ。

4 , M・ウィットニー「円急落が米のハイパーインフレを招く可能性」

日本とともに前例のない為替介入に動いた米国の対応の背景には、40兆ドルに膨れ上がった米国財政の危機がある。日本発の金融不安がアメリカと世界金融全体を破綻させかねない状況とは。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます（[aala news の編集日記 \(livedoon ar.jp\)](#)） なお紹介している論考は学習資料であり、内容の全部も一部も日本 AALA の見解や立場を反映したものではありません。

